

横山幸次

区政報告
ニュース

555

2014年10月19日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを
ご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

問われた暮らし応援と 区施策の優先順位…

9月議会を 検証する…

荒川区議会9月会議は、15日に終わりました。この議会は、2013年度の予算執行について審議する重要な議会でした。共産党区議団は、決算の認定に反対しましたが、主な理由について特集してみました。

介護保険の区民負担増と事業削減… 暮らしの防波堤としての役割が不十分

2013年度は、長期の不況に加え、住民税増税や生活保護費削減など社会保障の削減など区民の暮らしが深刻となる中、暮らしを守ることを最重点にした予算執行が求められました。

しかしデイサービスの食事代補助の廃止、介護給付抑制、国保料値上げなどの負担増をはじめ、区民の暮らし応援に背を向ける中身が少なくありません。この年度の予算は、全事業対象に、マイナス5%シーリング(枠)がかけられる一方、複合施設には、マイナスどころか土地の買い増し、建設規模拡大が進められました。また学校でのタブレットPC導入については、既存パソコンルームとの二重リースのムダもあることが明らかとなりました(下の記事参照)。予算執行の優先順位が逆立ちしており、決算認定に反対しました。



学校のパソコン経費と二重リースに タブレット配備ありきのムダ遣い…

荒川区は、2013年度に「タブレットパソコン全児童生徒一人一台体制」にむけたモデル事業を開始。教育的検証がないまま突き進んでいます。同時にその結果、大変な無駄遣いが生まれています。それは、現在の学校内のインターネットワークやパソコンリースのうち、パソコン教室のパソコンと机・椅子が必要になり、荒川区がリース契約を一部解除したことで生まれました。その一括返金が約1億2000万円発生。そのうち5000万円は、協議の上、タブレットPC契約相手の内田洋行(株)が負担するという異例な事態。導入ありきがムダを生んでいます。監査請求にも値する重大な予算執行であり到底容認できるものではありません。

「生活費」全額差し押さえは違法 実態を調査して対応すべきです

区は、住民税滞納に対する差し押さえを強化しています。もちろん納税は、区民の大切な義務です。同時に、滞納理由の中で、病気や失業、母子家庭など様々な理由があることも事実です。ところが区は、預金に入ったもの全てを「財産」だとして給料など生活費全額の差し押さえを行う事例が生まれています。法で定められた差し押さえ禁止財産の趣旨を無視し、家族、生活実態を考慮することなく預金を機械的に差し押さえるなどあってはならないことです。きちんとした調査の実施が必要です。

裏面 複合施設建築の契約 問題、区政情報…など

定例法律相談会

11月10日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。
生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

まづの話題あれこれ

長年親しまれた旧町屋ひろば館が解体工事に 入りました 今後の藍染公園の拡張用地に…しかし考えさせられることも

ひっそりとした藍染公園。その奥に長年親しまれた旧町屋ひろば館に囲いや足場が施され解体工事に入っていました。行き会わせたい女性が、まだ使えるのにもったいない。子どもが集まる場所が少ないのに…と語っておられたことが印象的でした。以前は、公園入口いっぱい子ども達の自転車が置かれ、人気のひろば館でした。中高生の居場所としても機能していました。建物はなくなりますが、今後子ども達の居場所としての児童館機能を地域でどうついでいくのか課題は残ります。なお、解体工事は、来年1月で終了予定、その後は公園として整備するようです。

横山幸次



区政の優先順位は？無理な契約では？… 87億円の施設建設はこのままでいいの



複合施設建設に至る経緯

1992年 5月	吉村昭氏に区民栄誉賞 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置
2004年 9月	区内図書館に吉村氏著作コーナー設置
2006年 4月	これからの図書館問題懇談会報告
2006年 7月	吉村氏逝去
2006年11月	文学館のあり方懇談会(2007年3月まで)
2007年 6月	文学館基本構想委員会(2008年3月まで)
2008年 7月	文学館推進委員会
2009年10月	大出メッキ跡地「開発公社」土地取得
2009年11月	複合施設懇談会設置
2010年 7月	開発公社土地購入
2011年12月	開発公社土地購入
2011年10月	基本設計(2012年9月まで)
2012年10月	開発公社土地購入
2012年11月	実施設計(2014年3月まで)
2014年 5月	工事入札不調
2014年 6月	工事入札不調
2014年 9月	工事入札落札

もともと荒川区の図書館のあり方検討から出発しました。そこでは、身近な5つの地域図書館の重要性など話し合われその充実など話し合われてきました。

共産党区議団は、東日本大震災に直面し、区民生活が大変になる中、複合施設について図書館の整備中心に規模を見直し、暮らし応援や震災対策など優先すべきと求めてきました。今回この施設の建築工事の契約が議会の議決にかけられました。共産党区議団は、以下の理由で反対しました。

第一に、マイナス5%シーリングでささやかな福祉施策など削減する一方、複合施設は、用地買い増しなど総事業費87億円規模にまで膨らんでしまいました。予算の優先順位が間違っています。また区施設の多くが老朽化し、今後40年間で約1400億円台の改修経費がかかります。その多くが直接区民サービスに関わる生活関連施設であり、この改修・長寿命化を優先し、新規建設は抑制することが必要です。

第二に、契約内容にも問題があります。6月の第一回目の入札が予定価格40億9077万円で全社辞退、第二回は予定価格を41億4738万円に引き上げました。価格が合わず再度全社辞退。いずれも労賃引き上げや建築資材高騰、技能労働者不足などが構造的に影響した結果です。他自

治体では、大型建築工事の凍結や計画の延期・見直しを行ったところも少なくありません。しかし区は、計画の全体の見直しどころか、3回目の入札を強行。結果、2回目の予定価格41億4738億円を下回る金額で落札、入札最高額との差は10億円を超えています。前回予定価格以下にするには、設計内容を縮小しない限り、人件費が建築資材などの圧縮しか方法がありません。どこかで無理をすると、労働者へのしわ寄せや建物の質に影響しないかなど懸念されます。

みなさんのご意見をお寄せください。

故吉村昭さんは、エッセイ集「わたしの普段着」の中で日暮里図書館の吉村昭コーナーについて『不約合いなコーナー』と自ら評しておられます。いまのご存命なら、現状に「困ったものだ」とお感じになるのではないのでしょうか。



区政情報…

尾久の原公園などダイオキシン類対策の工事がはじまります(11月から)

いよいよ尾久の原公園などダイオキシン類対策工事がはじまります。工事費用は、約1億1800万円。対策は、土の入れ替えでなく「封じ込め」方式で、議論のあるところです。今後、工事中の粉塵飛散、騒音・振動など住民の側の監視が必要です。

また、東京都は、対策工事終了後、環境大気年3回、河川水年3回、覆土年1回など調査を行うとしています。

作業内容	平成26年度												平成27年度											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月						
都立尾久の原公園	工事その1																							
	工事その2																							
区立東尾久運動場及びその周辺	工事																							
対策工事に伴う環境調査																								

町屋さくらの往復運行(町屋-熊野前) 11月1日からはじまります…

ようやく町屋駅と熊野前の往復運行がはじまります。これで隅田川沿いにお住まいの方は便利になります。しかし全体の利用を促進して全体の往復運行にまで持っていきたいですね…。

